

(様式 2)

議事録番号

提出 2022 年 1 月 31 日

会合議事録

研究会名：データ駆動科学研究会

日 時：2021 年 12 月 22 日(水) 9:30 – 12:30

場 所：オンライン開催 (Cisco WebEx Events を使用)

出席者：(議事録記載者に下線) 別紙参照

計 103 名 (所属機関：企業 48、大学 22、公的機関等 35)

執行額：無し

議題： データ駆動科学によるデータ解析高度化

議事内容：

今回のワークショップでは、データ駆動科学を用いたデータ解析法の一つであるスパースモデリングについて、具体的な利用研究例の紹介と将来展望について議論した。

データ解析高度化の現状とその意義に関する報告が行われた後、4名の研究者からスパースモデリングの利用による最新の研究成果の紹介や今後の利用展開についてご講演いただいた。

今回のワークショップには、かなり多くの企業関係者から施設者、大学関係者に至るまで幅広い分野から参加いただき、機械学習技術によるデータ解析高度化利用研究に対する高い関心があることが伺えた。今後、スパースモデリングをはじめとした機械学習技術を活かしたデータ解析へのさらなる利用拡大が期待できる。また、総合討論では、機械学習技術を取り入れた解析法を利用すると、これまで曖昧であった部分を明瞭に理解できることや、物理学的視点を明確にすることで導いた結論に妥当性を与えることとなるといったご意見をいただいた。また、様々な技術の使い分けについても指針があると利用するハードルが低くなるのご意見もいただいた。

(別紙)

出席者 103 名

水牧仁一郎，佐野則道，松下智裕，赤井一郎，大槻純也，横山優一，濱本美和子
(以上，司会進行および講演者)

以下、聴衆の御氏名は省略いたしました。